

サルヴェ・バンド

Salve Band

2025年

9月14日 (日)

昼公演 **13:00開演** (12:30開場)

夕方公演 **16:00開演** (15:30開場)

Soprano 本宮廉子

Violin 柿沼かおり 高藤朋子

Viola 松浦友哉

Cello 中川剛

Contrabass 高藤ゆか

Cembalo 樽谷学

第4回公演

今井館聖書講堂

文京区本駒込 6-11-15

(JR駒込駅 徒歩11分)

Salve Regina

サルヴェ・レジーナ D-Dur (F.A.Vallotti)

Cembalo Concerto

BWV1058 g-moll (J.S.Bach)

チェンバロ協奏曲 第7番

Cantata

HWV92 "Clori, mia bella Clori" (G.F.Händel)

カンタータ「クローリ、僕の素敵なクローリよ」

Suite "La Bouffonne"

TWV55:C5 C-Dur (G.P.Telemann)

組曲「ブフォン」

他

ご予約

入場料金 2,500円
全席自由

予約フォーム
bit.ly/3EGMr5Y



または出演者に直接ご連絡ください

Salve Band



Salve Band
公演情報

サルヴェ・バンドは、現代では演奏される機会が少なくなったサルヴェ・レジーナなどの教会音楽と、バッハの残したチェンバロ協奏曲を演奏するために結成されたグループです。

テレマンは生涯を通じて数多くの組曲を作曲しました。《ブフォン》は恐らく若い頃の作品。この曲の独創性、仏伊のスタイル融合、folk-music形式の味付けは、テレマンの流暢さを物語っています。

ヘンデル作曲《クローリ、僕の素敵なクローリよ》は、愛するクローリを失った悲しみと切ない恋心を、性格の異なる4つのアリアによって描いた作品です。2本のヴァイオリンを伴い、希望と不安、躍動、涙、そして苦悩と激しさが豊かに表現され、小さなオペラのような魅力を放ちます。

バッハ作曲《チェンバロ協奏曲第7番》は、彼自身が作曲した《ヴァイオリン協奏曲第1番》を鍵盤楽器用に編曲したものです。原曲の魅力を生かしつつ、鍵盤楽器ならではの華やかな装飾が施されています。

終楽章のフーガでは楽曲の豪華さが際立ちます。

音律の名前として知られるヴァロッティは、イタリアの作曲家であり、音楽理論家、そしてカトリックの聖職者でした。《Salve Regina》は、典礼の場で演奏されたと考えられ、バロックよりも新しい時代の風を感じさせます。時おり言葉と乖離し奏でられる自由かつ美しい音楽は、演奏される機会がもっとあってよいでしょう。

Solist

本宮 廉子 Kiyoko MOTOMIYA (Soprano)

千葉県出身。日本大学芸術学部音楽学科卒業。同大学院修了。ヘンデル「メサイア」、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」、ハイドン「ネルソン・ミサ」、モーツァルト「ハ短調ミサ」「戴冠ミサ」、フォーレ「レクイエム」、プーランク「グロリア」等にソリストとして出演するほか、近代フランス歌曲、日本歌曲を中心に演奏活動を行う。2022年ソロリサイタルを開催。日本ヘンデル協会会員、セルクルYメンバー。

樽谷 学 Manabu KURETANI (Cembalo)

香川県高松市に生まれる。1999年東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。これまで作曲を大出孝祐、北村昭、尾高惇忠、広瀬量平、チェンバロを小島芳子、曾根麻矢子の各氏に師事。2005年第19回古楽コンクール山梨において第3位を受賞。チェンバロだけでなく、最近では、受難曲、カンタータ等の大規模声楽曲の通奏低音奏者として、オルガン演奏にも活動を広げている。



今井館聖書講堂

(東京都文京区本駒込6-11-15)

- ◆ JR 駒込駅から徒歩11分
- ◆ 南北線 駒込駅から徒歩8分
- ◆ 都営三田線 千石駅から徒歩4分

